

令和9年3月に義務教育を終了する生徒、保護者の皆様へ 【義務教育終了後に進路について相談できる外部の機関等について】

広島県教育委員会



○生徒の皆さんへ

皆さんは9年間にわたる義務教育の最後の年を迎えています。自分の願いや希望を大切にしてい、これからも「なりたい自分」を目指して歩んで行かれることでしょう。

しかし、「なりたい自分」を目指しながらも、皆さんが将来のことで不安になったり、悩みをもったりすることがあるかもしれません。また、次の進路先の生活が中学校のときに思い描いていたものと違っていたり、学校や仕事を辞めて、次の進路を考えることができなくなったりすることもあるかもしれません。

もしもそのような状況になったら、自分一人だけで解決しようとするのではなく、いろいろな人の力を頼ることで将来への展望が広がる可能性があります。

県教育委員会では、卒業後の進路として考えられる高等学校等や相談できる場所を紹介するプログラムを実施しています。また、県内には卒業後、相談できる機関もあります。（資料を参照してください。）

今回、紹介するプログラムや機関は、皆さんの将来について、どうしたらいいかを考えるきっかけとなると思います。ぜひ、相談先の1つとして、資料（別紙1～4）を読んでみてください。



○保護者の皆様へ

お子様の義務教育の最後の年を迎え、進路の選択や決定に向け、保護者として日々お子様の相談にのられていることと思います。

中学校等卒業後の進路の選択に当たっては、お子様が家庭でも相談しながら自分で決定することとなります。その際、保護者の皆様には、中学校等の先生とともにお子様の相談にのっていただき、進路を自己決定できるように支えていただきたいと考えております。

本資料は、進路選択の情報を提供するプログラムや卒業後も相談が受けられる機関を紹介するものです。

今回御紹介するプログラムや機関は、お子様が中学校等卒業後の進路を見出すことが難しかったり、進学・就職をしたもののなじみにくかったりした際などに、お子様だけではなく、保護者の皆様にも参考となるよう作成しております。

お子様の夢や希望の実現へ向け、将来の進路を自らデザインし、行動できるようにするための一助として、ぜひ本資料を御一読ください。